

基地周辺対策特別委員会

1. 執行部からの主な報告 令和7年12月3日

阿多田島におけるdB(デシベル) 値測定状況

阿多田島測定地

月	90dB以上	80dB以上	70dB以上	測定回数
8月	4	47	48	99
9月	27	225	198	450
10月	42	229	107	549
合計	73	501	353	1098

音の大きさの目安は 90dB：騒々しい工場の中

80dB：車の車内

いずれもうるさくて我慢できない大きさ

※10月2日の深夜まで90dBを超える騒音が続いた

これはFCLP（空母艦載機の着陸訓練）終了後のCQ（空母着艦資格取得訓練）によるもので、市長より防衛大臣宛てに要請書を提出したことが報告された。

2. 今後の取組について協議した

議会のあり方調査研究特別委員会

9月定例会にて任命された、新しい委員構成において活動が始まりました。

これまでの取り組みを引き継ぎつつ、まずは一部公務の定義や議会の継続性について確認し、優先的に取り組む事項を委員から意見を求めました。

市民に身近な議会を目指す活動、委員会の運営の仕方、議員定数の研究など様々な意見があがり、協議を経て採決の結果、議会報告会の具体的な改善について取り組んでいくことになりました。新年1月の会議から意見交換を始めます。

小方まちづくり特別委員会

執行部からの報告 令和7年12月3日

小方中学校跡地の道の駅基本構想・基本計画に係るサウンディング型調査の結果が報告されました。本調査は道の駅整備に向け、官民連携の可能性や事業手法を検討するため、民間事業者から幅広く提案を募ったものです。令和7年8月8日～27日に公募を行い、設計、運営、プロジェクトマネジメントなど多様な分野から13社の応募がありました。事業スキーム、契約条件、収益性、立地条件など、事業実施に向けた多様な意見が寄せられました。